

2016年3月3日 木曜日

## ○ 講演①

「わが国のサイバーセキュリティ戦略」というテーマで内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター谷脇康彦氏により講演が行われました。

2015年1月にサイバーセキュリティ基本法が施行されました。基本法をもとに内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）では監査・調査・勧告を行っています。政府に対して標的型攻撃などのセキュリティインシデントが観測されていますが、重大インシデントの場合にはNISCが対応しています。例えば、日本年金機構事案（2015年5月）ではNISCが初めて解析した事案に

なります。また、サイバーセキュリティ戦略（2015年9月）に関して、IoTセキュリティの検討事項、セキュリティインシデントが経営に与える影響に関して講演されました。その他、グローバルセキュリティや国家安全保障などについて政府の取り組みが説明されました。

講演について会場から、経営者にセキュリティの重要性を理解してもらうための具体的方法や、日本のセキュリティ予算などについて質問がありました。



## ○ 講演②

「サイバーセキュリティの転換と変革～「グローバル情報セキュリティ調査2016」調査結果より」というテーマでPwCサイバーサービス合同会社星澤裕二氏により講演が行われました。

この調査はPwCが定期的に行っている調査です（調査結果はPDFで会社のホームページからダウンロードできるそうです）。最新（18回目）の結果については127か国の方にオンラインで調査されています。アンケートから、セキュリティインシデントは全体



的に増加傾向にあり、小規模企業ではセキュリティ投資が増えているそうです。多くの企業がセキュリティフレームワークを活用するケースが増えていますが、世界と比較して日本企業では ISMS 認証の割合が多いという結果が紹介されました。これに対して NIST サイバーセキュリティフレームワークなどいくつかのフレームワークを組み合わせることでバランスよく活用すべきと説明されました。また脅威情報の共有は多くのメリットをもたらすことが分かっていますが、アンケートから日本企業は企業間でのあまり活用されておらず、今後情報共有のための基盤整備が必要と述べられました。また脅威情報の購読もサイバー攻撃の予測や分析に有効かもしれません。

## ○ 協賛企業プレゼン



協賛企業の方々にプレゼンして頂きました。プレゼンされたのは発表順に、デジタルアーツ株式会社、株式会社ラネクシー、株式会社ラック、イクシアコミュニケーションズ株式会社、株式会社ワイ・イー・シー、グローバルセキュリティエキスパート株式会社、デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社、インターネット接続サービス安全・安心マーク推進協議会、SS8、M2M テクノロジーズ株式会社、株式会社インテリジェント ウェイブ、マカフィー株式会社の12社です。

## ○ ナイトセッションプレゼン&温泉地プレゼン

森井先生の司会でナイトセッション司会によるナイトセッションの紹介がありました。

南紀白浜シンポジウム実行委員長石井秀明氏により、第20回サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム2016年5月19日(木)～21日(土)の紹介がありました。すでに申し込みで定員いっぱいですが、メールでキャンセル待ちと書いて出せばまだ参加の希望は残っているそうです。



越後湯沢ワークショップ実行委員長一戸信哉氏と副実行委員長花田経子氏により、情報セキュリティワークショップ in 越後湯沢の紹介がありました。開催日は2016年10月7日(金)～8日(土)でテーマは「セキュリティディバイドからの脱却～サイバーセキュリティ対策と対応への道しるべ～」になります。申し込みは7月下旬からの予定になります。

どちらの大会も、どうぞご期待ください。よろしくお願いします。